



平成 29 年 9 月 25 日

各 位

会社名 株式会社東武住販
代表者名 代表取締役社長 荻野利浩
(コード番号：3297 東証 JASDAQ・福証 Q-Board)
問合せ先 取締役管理部長 河村和彦
(電話番号：083-222-1111)

第1次中期経営計画に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 5 月期（2018 年 5 月期）を初年度とする第 1 次中期経営計画（2018 年 5 月期～2020 年 5 月期）を策定いたしましたので、お知らせいたします。

記

当社は、経営理念“エコモデルの創造を通して人と環境に優しい暮らしづくりに貢献します”の下、中古住宅のリフォームによる住宅再生および流通促進に取り組んでまいりました。

今後、わが国において空き家問題が深刻さを増す中、当社は、引き続き経営理念の実践に努め、中国地方と九州地方の中古住宅再生 NO.1 企業を目指すとともに、株主様、地域社会の皆様はじめステークホルダーの方々に貢献してまいりたいと考えております。

そこで、当社は、第 1 次中期経営計画を策定・公表して、当社の経営姿勢及び経営ビジョンを明確にすることにいたしました。

第 1 次中期経営計画の詳細につきましては、添付資料をご参照ください。なお、平成 30 年 5 月期の業績予想等につきましては、平成 29 年 7 月 11 日公表の「平成 30 年 5 月期 決算短信」をご参照ください。

※ 本資料に掲載されております業績見通しや中期計画、その他今後の見通し・戦略等に関する情報は、現時点で入手可能な情報と一定の前提条件に基づき、弊社が合理的であると判断し、予測したものです。したがって、実際の業績は、様々な要因により、本資料の見通しと大きく異なる可能性がございます。

以上

第1次中期経営計画

2018年5月期 ~ 2020年5月期



株式会社東武住販

証券コード 3297

2017年9月

1

東武住販のミッション

私たちは
エコホテル創造業

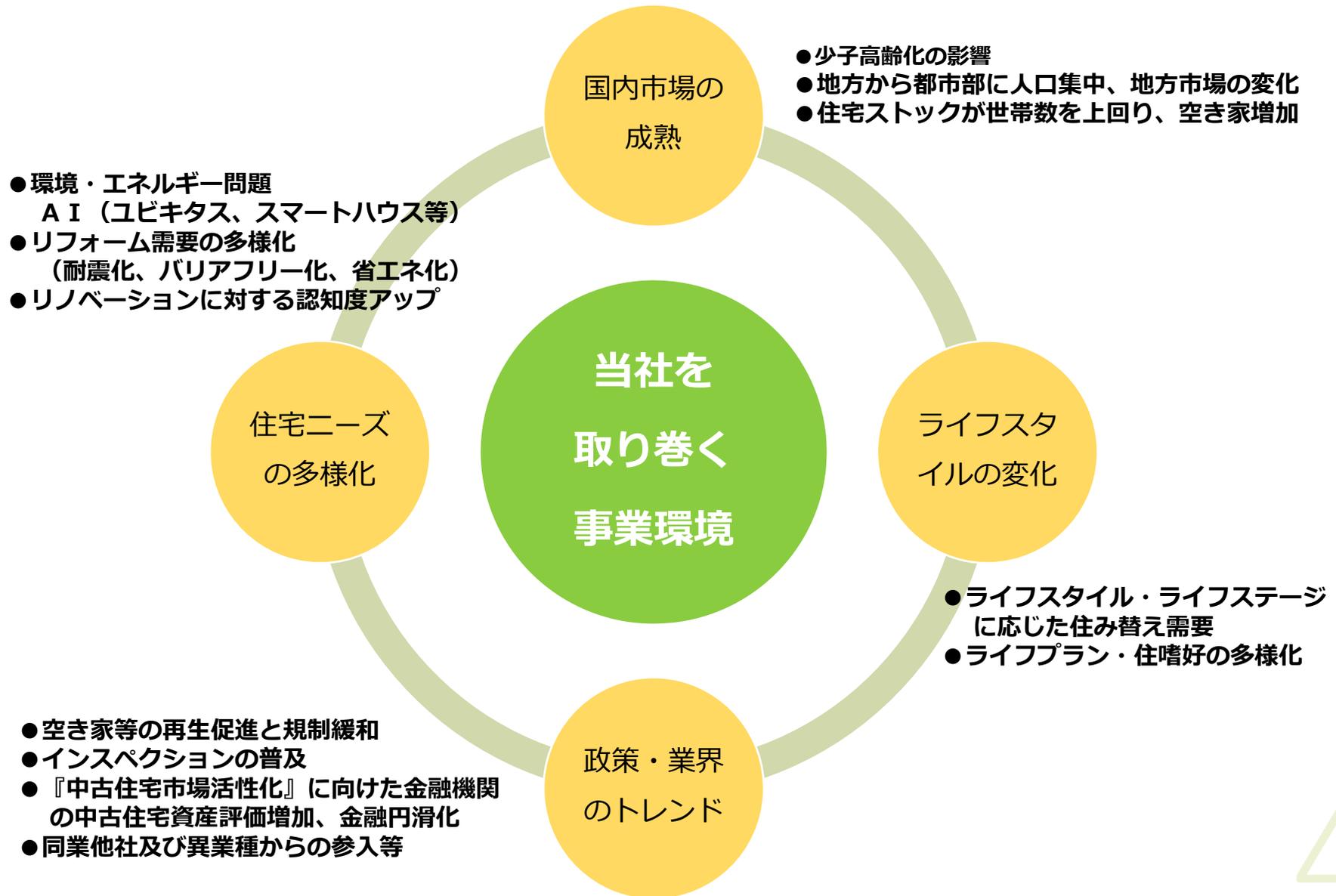


東武住販は、中古住宅のリフォームによる住宅再生および流通促進に取り組み、人と環境に優しい暮らしづくりに貢献します。

東武住販の目指す将来像



当社を取り巻く事業環境



中期経営戦略

両輪並行推進

**主力事業の
更なる拡大**

市場性、顧客ニーズを踏まえた
商品・サービス戦略の実践

- 【主力事業領域】 中古住宅再生販売
- 事業エリアの拡大、商品コンセプトの研究・開発
- 主力事業の戦力充実
- 仕入拡大策、商品化・販売スキル向上策の実践

**経営基盤の
更なる強化**

- 財務管理 健全なる財務コントロール
- 人材管理 組織開発、人材開発
- 営業管理 営業統括機能の強化
- リスク管理 業務継続リスクの適正管理

当社は上記両輪のバランスに留意し、
堅実・健全な企業成長路線を描いて
具体的な実践計画を推進して参ります。

事業拡大と連動した
人材の適時・適正な補強

2020年5月期に向けた4つの成長基盤

営業体制強化

新卒者・中途採用者
による営業力強化
営業人員100名体制の実現

出店拡大

毎期2店舗以上の出店
2020年5月期まで継続

4つの
重点成長基盤

人材育成

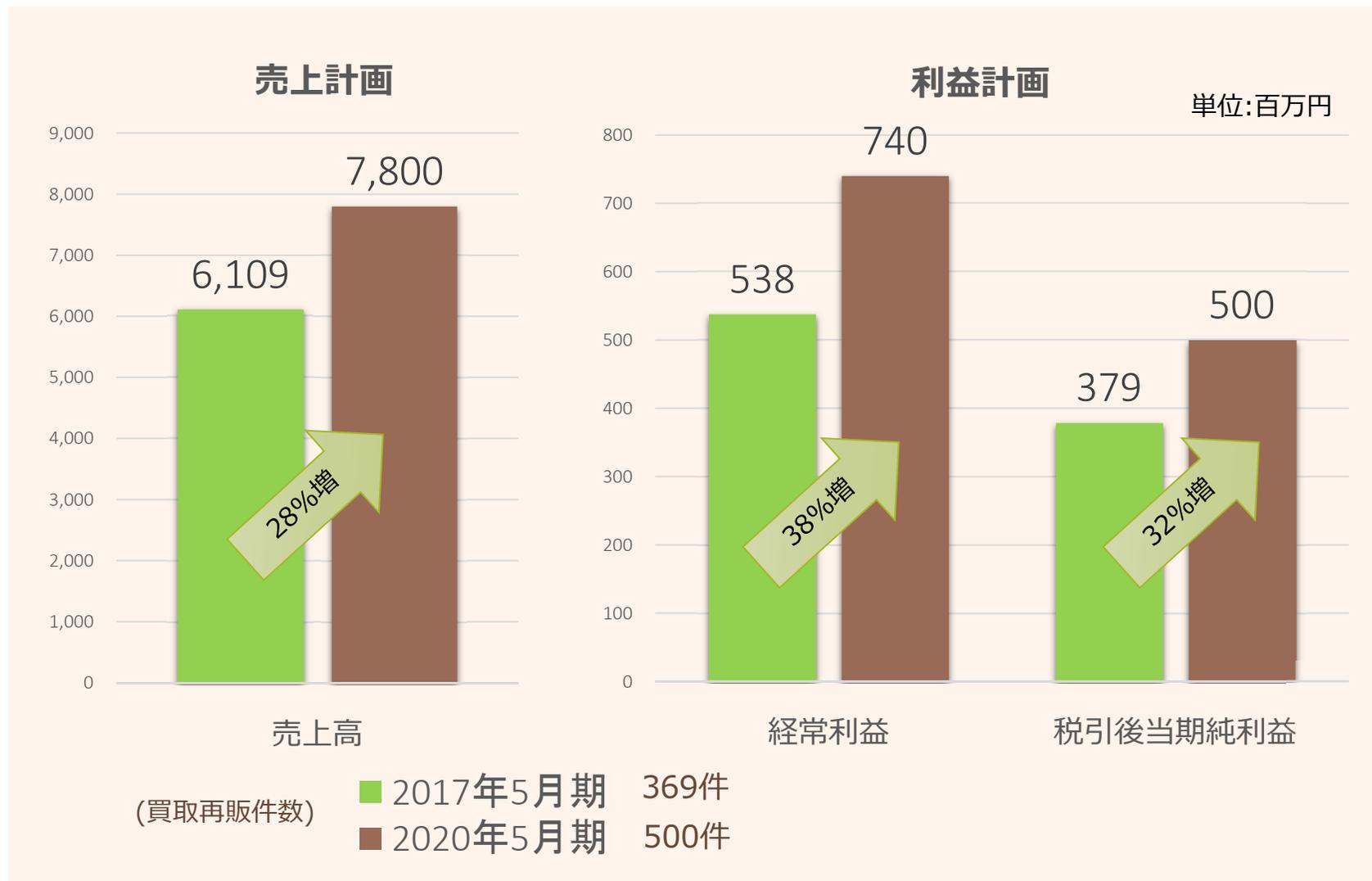
社内研修の充実
社外研修の積極活用
営業部門から管理部門まで
すべての部門において
プロフェッショナルを育成

本則視野にコーポレート ガバナンス体制整備

本則市場（東証2部・東証1部及び福証）への変更を視野に入れ、コーポレートガバナンス体制の整備開始
お客様、株主様、そして社会からゆるぎない信頼を得るため、全従業員にコンプライアンスの徹底

3力年売上高・利益計画

中期経営戦略の推進により、売上高、経常利益、税引後当期純利益を下表のとおり設定します。



株主様への還元と指標目標値

1. 基本方針

- 第1次中期経営計画期間は、成長期と捉え毎期安定した収益体質を維持し、不動産市況の変化に備えた内部留保の積み上げを図りつつ、安定した配当実施を目指します。
- 2015年5月期より導入した株主様ご優待制度については継続する予定です。

(指標目標値)

項目	目標値
自己資本比率	60%以上を維持
ROE（株主資本利益率）	15%以上を維持
DOE（株主資本配当率）	2.5%を維持、3.0%以上を目標

2. 資本イベント

- 2017年5月期末日を基準日として、株式流動化を目的に株式分割（1株→2株）を実施しました。
- 将来的には、本則市場（東証2部・東証1部及び福証）上場を目指します。

地元に着した活動

社会貢献活動

『人と環境にやさしい暮らしづくり』への貢献をめざし、今後も社会貢献活動に取り組んでまいります。

- | | | |
|-------------|-----------|---|
| ① 災害復興 | 2011年 3月 | 東日本大震災 義援金活動 |
| | 2016年 4月 | 熊本地震 義援金活動 |
| | 2017年 9月 | 北部九州集中豪雨 義援金活動 |
| ② 地域振興 | 2016年 3月～ | 山口県唯一のプロサッカーチーム レノファ山口 (J2) のオフィシャルパートナーとしてサポート。
『志 心ひとつに 2017』今年も熱い声援を送ります。 |
| ③ 地域行事協賛・参加 | 毎年春・秋 | しものせき花いっぱい計画 |
| | 2016年 8月 | カンボジアの子供たちへ学用品支援 (下関) |
| | 2016年 8月 | 馬関まつり2016 (下関) |
| | 2016年11月 | 下関海響マラソン |
| | 2016年11月 | 下関歴史ウォーク |
| | 2016年11月 | 手をつなぐみんなの福祉フェスタ (下関) |
| | 2017年 6月 | 2017海峡映画祭 (下関) |
| | 2017年 8月 | 馬関まつり2017 (下関) |
| | 2017年 8月 | 第33回関門花火大会 |
| 2017年11月 | 下関海響マラソン | |

注意事項

本資料に関するご注意

- ・本資料は、弊社をご理解頂くために作成したものであり、弊社への投資等の勧誘を目的としておりませんので、ご理解願います。
- ・投資に関する決定は、ご自身のご判断によって行われますようお願い申し上げます。
- ・本資料に掲載されております業績見通しや中期計画、その他今後の見通し・戦略等に関する情報は、現時点で入手可能な情報と一定の前提条件に基づき、弊社が合理的であると判断し、予測したものです。
- ・実際の業績は、様々な要因により、本資料の見通しと大きく異なる可能性がございます。
- ・本資料の記載された情報によって生じた影響、損害に対し、弊社は一切責任を負いません。
- ・いかなる目的であっても、本資料を無断で複写、複製等を行わないようお願い申し上げます。



お問い合わせ先
株式会社 東武住販 管理部
TEL 083-222-1111

